

埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在70か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。



ななみち・おかだいいせき

中道・岡台遺跡第10・11地点

第10地点

調査地：朝霞市岡二丁目地内

期間：令和6年5月8日～5月24日

調査面積：16.10㎡

第11地点

調査地：朝霞市岡二丁目地内

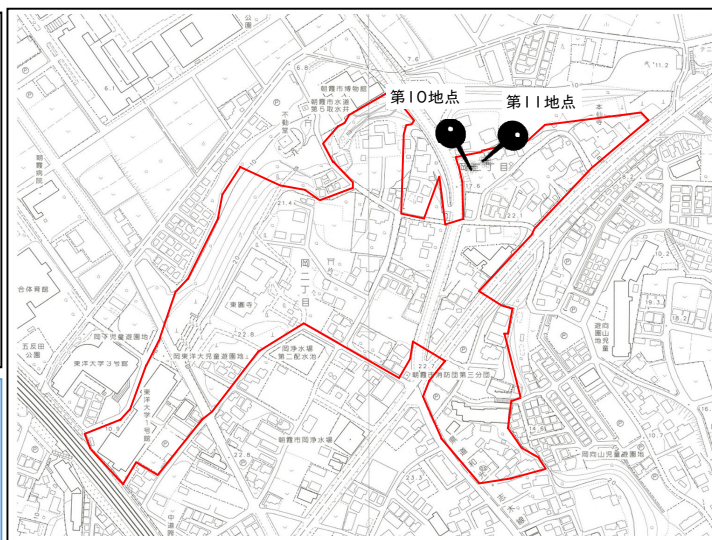
期間：令和6年5月8日～5月24日

調査面積：9.20㎡

第10地点

◆今回の調査では、住居跡・土坑・ピット・焼土範囲が確認され、遺物は、縄文土器・土師器・陶磁器・石器・金属製品が出土しました。

狭小な範囲での調査であったため住居跡は、部分的な検出となりましたが、東壁中央付近と思われる場所にカマドを有する竪穴住居跡が検出しました。後世の掘削等によりカマドのほとんどは壊されていましたが、袖部である粘土の一部などは残っていました。その他、柱穴と思われるピットや保存用の施設である貯蔵穴も確認されています。住居跡の時代は、カマド跡や貯蔵穴から出土している土師器から古墳時代の住居跡と考えられます。周辺の発掘調査結果からも、同時期の住居跡が多数検出されていることから、当地点一帯に集落が広がっていたものと推測できます。



中道・岡台遺跡第10・11地点 位置図

第11地点

◆今回の調査では、土坑が確認され、遺物は、縄文土器・土師器が出土しました。

第10地点同様に狭小な範囲での調査でした。土坑は単独での検出であったため、どのような意味をもった土坑かは不明ですが、土坑の形状や中に入っている土の状況、遺物の出土から何かしら意味を持って人為的に掘られた土坑であることが考えられます。



検出した住居跡(第10地点)



検出した土坑(第11地点)

博物館の近くにも集落が広がってんだね。



おむさしのフロントあさか